



のぞみ 希望

学校ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/>

学校
ホームページは
こちら



貴重な体験

校長 藤崎 健児

先日、4年生の上郷宿泊体験学習と5年生の三浦宿泊体験学習を行いました。

私は4年生の引率をしました。まず、金沢動物園に行きました。体験プログラムに参加し、ゾウやキリンなどの骨のつくりについて、実際の骨格標本やレプリカを見せていただきながら動物の骨と筋肉について学びました。その後、グループで園内のスタンプラリーをしました。「〇〇先生のところに行きたいのだけど、どっちに行こうか。」などと相談しながら活動する姿が見られました。また、新型コロナウイルス感染症が感染症法上で5類に分類されたことで、久しぶりにグループで丸くなり、顔を見合いながら楽しそうにお弁当を食べることもできました。



上郷森の家ではキャンドルファイヤーを行いました。「上郷へ行こうよ」や昨年度の運動会のダンス「ええじゃないか」などのレクリエーションで交流を思う存分楽しみ、最後は一人ひとりが小さなろうそくに火を灯して持ち、素敵な声で「心のノート」を歌いました。ミニドームに響く子どもたちの楽しそうな声や美しい歌声…。感染症拡大防止のための制限がない「普通」のよさとともに、コミュニケーションの大切さを実感しました。

翌日は隣接する横浜自然観察の森を歩き、横浜市最高峰の大丸山までハイキング。熱中症が心配される天気予報でしたが、森林の中は木陰が多く、鳥の声、木々のざわめきなど自然を満喫していました。つい2か月前まで3年生だった子どもたちが、友達と声をかけ合う姿も見られ、成長を感じる2日間でした。

5年生の三浦宿泊体験学習当日は心配していた雨も上がり、まず、観音崎自然博物館で体験活動、館内見学、水産業についてのお話を聞きました。その後、三浦の海で磯体験をして、自然を満喫しました。

私が夕方、宿泊地である三浦YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジに到着したときには、キャンプファイヤーをしていました。「落ちた落ちた」や「アブラハム」などのレクリエーションに歓声をあげて活発に活動する子どもたち。その表情はとってもうれしそうでした。4年生同様、楽しい時間を友達と共有することの大切さを感じました。

翌日はYMCAで農業についてのお話を聞いた後、ソレイユの丘近くの農園で、玉ねぎとにんにくの収穫体験をしました。店で販売されている野菜しか見たことのない子にとっては貴重な経験となりました。学校に到着したときには少し疲れも見えましたが、多くの活動をした満足感が伝わってきました。

この「宿泊体験学習」は宿泊をすることだけでなく、自然と触れ合うこと、人に直接お話を聞くこと、友達と長い時間過ごすことなどを体験する貴重な場です。今後、6年生は修学旅行、他の学年でも遠足や校外学習を予定しています。様々な体験を通して、子どもたちが多くのことに興味をもち、自信をもって考え、新たなことへ挑戦することができるよう、支援してまいります。

